

アジア歴史資料センターデータベース構築計画 (追加修正)

(単位:コマ)

	国立公文書館	外交史料館	防衛研究所図書館	合計
H12	210,000	923,000	1,150,000	2,283,000
H13	130,000	923,000	1,150,000	2,203,000
H14	<u>100,000</u>	923,000	1,150,000	<u>2,173,000</u>
H15	<u>100,000</u>	923,000	1,150,000	<u>2,173,000</u>
H16	<u>100,000</u>	923,000	1,150,000	<u>2,173,000</u>
H17	<u>100,000</u>	923,000	1,150,000	<u>2,173,000</u>
H18	<u>100,000</u>	923,000	1,150,000	<u>2,173,000</u>
H19		923,000	1,150,000	2,073,000
H20		923,000	1,150,000	2,073,000
H21		923,000	1,150,000	2,073,000
H22			1,150,000	1,150,000
H23			1,150,000	1,150,000
H24			1,150,000	1,150,000
H25			1,150,000	1,150,000
H26			860,000	860,000
Total	<u>840,000</u>	9,230,000	16,960,000	<u>27,030,000</u>

(注)

・この計画上の数量は、現時点で把握している数量であり、各機関におけるアジア歴史資料の今後の増加等によっては計画上の数量を変更する場合がある。

・国立国会図書館(憲政資料室)の保管するアジア歴史資料(550万コマ)のマイクロ・デジタル化については同館と要調整。

・国立公文書館所蔵のアジア歴史資料については、現在判明している約84万コマを平成18年度までにマイクロ化・デジタル化する。

**アジア歴史資料センターデータベース構築計画
(整備作業繰上げに伴う修正コマ数)**

(単位:コマ)

	国立公文書館	外交史料館	防衛研究所図書館	合計 / 累計
H 12	122,000	660,000	1,150,000	1,932,000 / 1,932,000
H 13	720,000	735,000	890,000	2,345,000 / 4,277,000
H 14	160,000	855,000	1,150,000	2,165,000 / 6,442,000
H 15	450,000	750,000	1,530,000	2,730,000 / 9,172,000
H 16	450,000	1,000,000	1,530,000	2,980,000 / 12,152,000
H 17	450,000	1,000,000	1,530,000	2,980,000 / 15,132,000
H 18		1,000,000	1,530,000	2,530,000 / 17,662,000
H 19		1,000,000	1,530,000	2,530,000 / 20,192,000
H 20		1,000,000	1,530,000	2,530,000 / 22,722,000
H 21		1,230,000	1,530,000	2,760,000 / 25,482,000
H 22			1,530,000	1,530,000 / 27,012,000
H 23			1,530,000	1,530,000 / 28,542,000
H 24				
H 25				
H 26				
Total	2,352,000	9,230,000	16,960,000	28,542,000

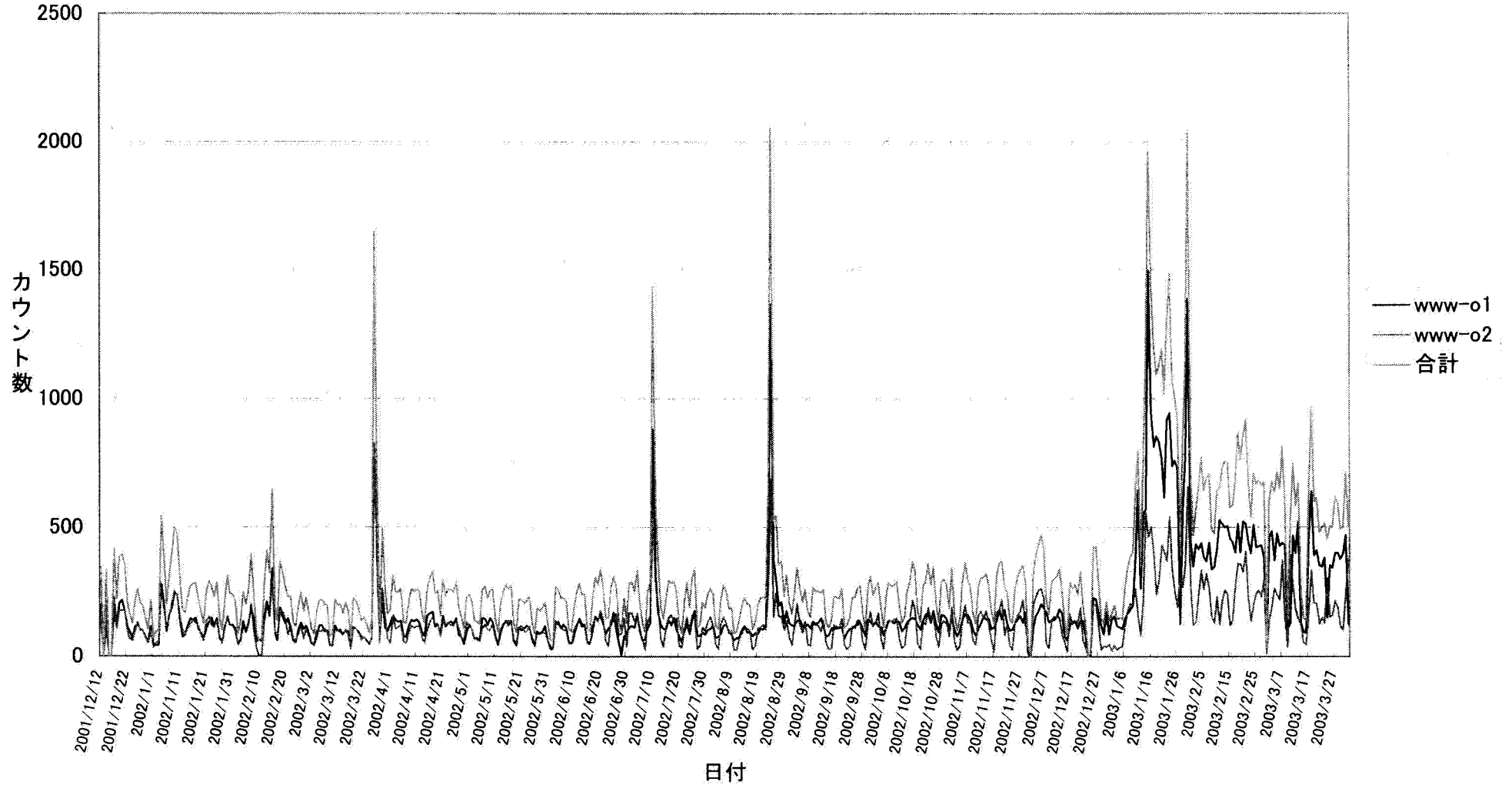
(注) 当初の構築計画(H13.11.13連絡調整会議承認)では、平成26年度までに画像データを27,000,000コマ整備する予定であったが、その後、整備計画を精査した結果、国立公文書館の新たにアジア歴史資料として判明した資料を加え、上記のとおり整備作業を繰上げる計画を各館との間で合意した。なお、この数字は、あくまで現時点で各館において詳細が判明している資料のコマ数である。今後各館に移管される資料の中にもアジア歴史資料として重要と思われるものが含まれてくる可能性があるため、各館の資料整備状況によっては、本計画上の数量の変更があり得る。

アジア歴史資料センター ホームページ アクセス状況

	日本語	英語	計	累計
13年12月	10,998		10,998	10,998
14年 1月	7,916		7,916	18,914
2月	6,822		6,822	25,736
3月	7,470		7,470	33,206
4月	7,318		7,318	40,524
5月	6,244		6,244	46,768
6月	6,040	55	6,095	52,863
7月	8,910	712	9,622	62,485
8月	10,824	931	11,755	74,240
9月	7,018	606	7,624	81,864
10月	8,256	832	9,088	90,952
11月	7,792	807	8,599	99,551
12月	7,621	1,216	8,837	108,388
15年 1月	25,860	6,970	32,830	141,218
2月	18,856	3,800	22,656	163,874
3月	16,633	3,885	20,518	184,392
	164,578	19,814	184,392	

注:13年12月には11月30日も含む

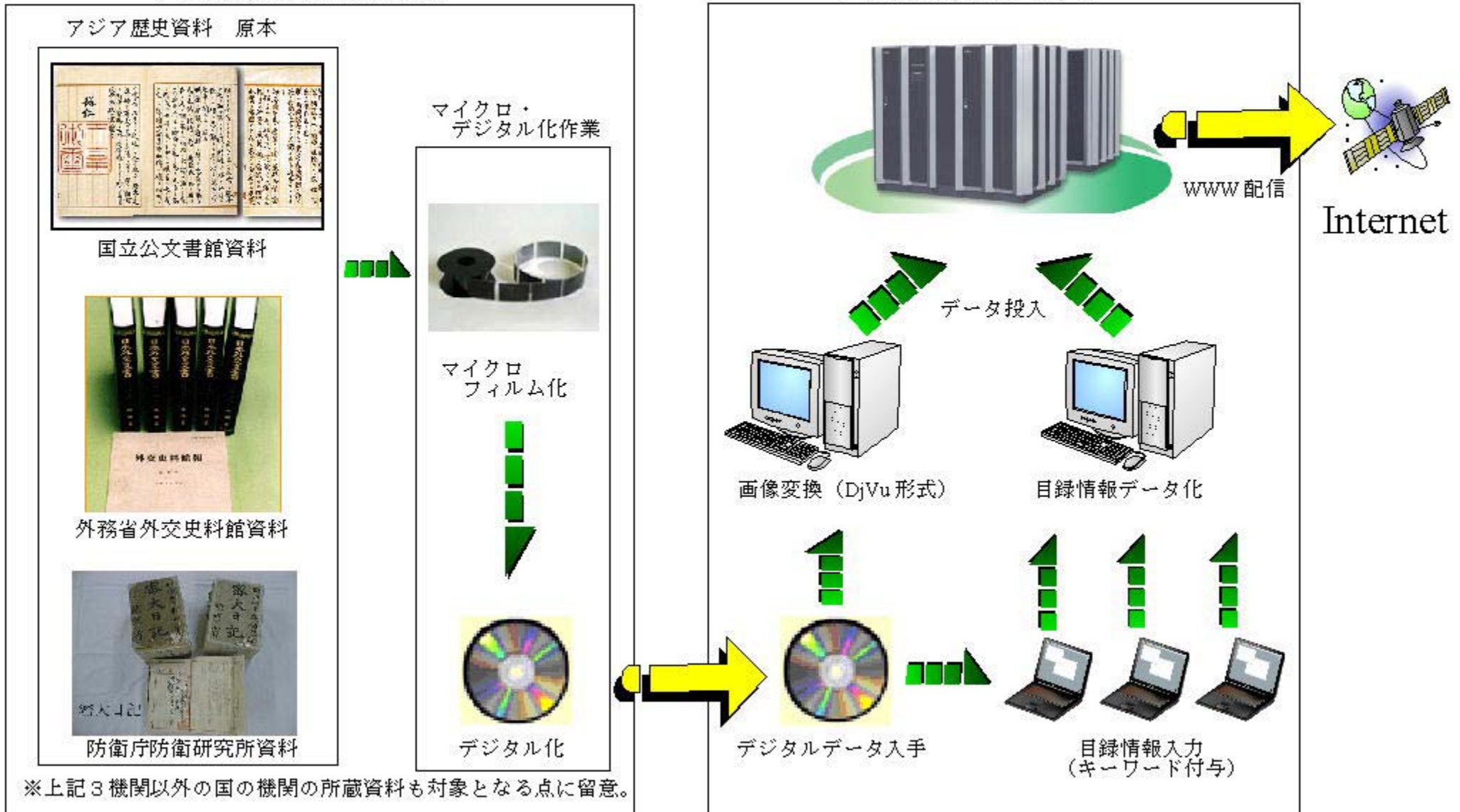
日本語版
WWWアクセスカウンタ(01/12/12～現在)



アジア歴史資料情報提供の流れ

アジア歴史資料所蔵機関

アジア歴史資料センター



平成14年度モニターアンケート集計結果概要

アジア歴史資料センター

アジア歴史資料センターでは、平成15年2月から3月にかけて、モニターによるアンケート調査を実施した。63名の応募があり、アンケート回答者は33名であった。これから得られた利用状況等は次のとおりである。

1. 利用環境

通信手段：ADSL 接続が主流（昨年度の30%から今年度は52%）
 使用ブラウザ：Internet Explorer V.6 が主流（昨年度の56%から今年度は67%）
 利用目的：研究（50%）、論文執筆（26%）
 利用頻度：月平均1～3回の使用（52%）、使用時間は1～2時間以下（60%）

2. 広報

センターをどのような方法で知ったかについては、
 知人等からの紹介が66%と最も多く、次にネット検索（10%）となっており、口コミで広まっていることがわかった。
 センターリーフレットについては、
 「見たことがない」と回答した人は昨年度の48%から今年度は28%に激減しており広報効果が得られている。

3. ホームページ

「おおむね良い」との意見が大勢（計88%）
 新たに掲載した「初心者のための利用方法」については、
 「分かりやすい」（48%）と「普通」（52%）がそれぞれ約半数を占める。
 誰もが利用できるセンターの利用形態については、
 「非常に良い」（79%）が多数である。
 リンクについては、
 もっと多くの内外の関連機関をリンク先になるべきとの意見があった。

4. 検索手法

検索手法の利用頻度については、
 キーワード検索を主に使用しているユーザーが最も多く、レファレンスコード検索は頻繁に利用するユーザーにとって便利であるとの意見もあった。

5. 目録表示

目録の項目を詳細にすべきとの意見と、
 まず資料の公開を優先すべきであり現時点ではこれが最適であるとの意見に分かれていた。

6. 画像表示

DjVu 形式画像のみで良いとの意見が大勢であった。
 他方、システム管理の観点から、DjVu がダウンロード制限される場合も多いため、他の標準的な画像形式の併用は必要との意見があった。

7. 資料内容

アジア歴史資料を抽出するのではなく3館の全資料を公開すべきとの意見があった。公開予定時期を明示してほしいとの意見があった。
 また、将来は3館以外の資料も対象とすべきであるとの意見もあった。

8. その他

センターが行っている事業については世界に誇れるものであり、内外の各資料館の手本となるように広報に努めてほしいとの意見があり、そのためにも目録の正確さなどについては日々見直しに努力してほしいとの期待が寄せられた。

以上

主 要 来 訪 者 リ ス ト

アジア歴史資料センター

日 付	来 訪 者	備 考
平成13年 11月30日	古川 内閣官房副長官 松下 内閣府副大臣 阪上 内閣府大臣政務官	開所式 " "
12月17日	豪州・戦争記念博物館日本担当研究部長一行	視 察
平成14年 1月 9日	福田 内閣官房長官	視 察
6月11日	中国国家档案局長・中央档案館長一行	"
10月23日	ソウル大学法科大学大学院長一行	"
11月22日	韓国外交通商部外交安保研究院長一行	"
12月 2日	日韓歴史共同研究委員会韓国側委員一行	"
12月 9日	中国人民大学副学長・档案学院長一行	"
平成15年 1月14日	福田 内閣官房長官	視 察